

令和3年10月末日

契約者各位

Prince-King 株式会社
代表取締役
井手 広司

半期報告書
日経先物アシストメール

令和3年4月1日～令和3年9月30日までの期間における半期報告書を作成いたしました。

1. 当該期間の状況について

日経平均株価は令和3年4月から8月中旬にかけて、中期下落を続けました。当下落期間はコロナウイルス感染症が経済に与える影響を懸念した需要の先行き不透明感や生産工場の閉鎖により緩やかな下落となっています。特に半導体不足の影響が大きく、マイナス要因として株価に影響が出たものと考えられます。その後、衆議院総選挙を控え、株価は大きく上昇し、バブル以来の高値を更新し、30795.78円を記録しました。

2. 当該期間の日経225助言メールサービスについて

当該期間の日経先物アシストメールの状況は、5回の助言メールを発信し、累計損益率は-0.1%となりました。メールの内容は買いメールが2回、売りメールが3回でした。また売りメールの内1回が不成立となり、約定しない結果となりました。前期よりもより慎重に売買判断を行い、小さい値幅で利益確定する方針としております。具体的には1回あたりの利益確定目標利率を1%とし、ラージ1枚運用における年間利益目標を100万円といたします。

(注) 累計損益率とは、各取引による取引実績を単純合計したものであり、運用資産の利回りを表示したものではありません。算定基準とした価格は、メール送信時の日本取引所グループ発表の価格をもとに算定しております。

また、当該期の運用成績に関しましては、運用分析能力の向上と、2018年2月13日に運用変更した、複数枚数発注による「半数OCO注文利用」が有効に作用したものと考えております。

3. 今後の運用に関して

小刻みに利益を積み重ねていくために、より綿密なデータ解析を行い、新規注文時の指値

範囲の精度向上に努めてまいります。現に、過去の転換点とその後の値動き範囲を分析から助言の指値範囲を指定することで、有利なポジションで握れております。着実に利益を伸ばしていくスタンスで、さらなるサービス向上に努め利益追求してまいります。引き続き「日経先物アシストメール」にご期待ください。

以上

※金融商品取引業者の表示

登録 投資助言業 九州財務局長（金商）第12号

商号 Prince-King 株式会社

加入 一般社団法人 日本投資顧問業協会

手数料等 プレミアム会員 入会金0円、月会費20,000円

他のPKクラブ会員 入会金0円、月会費25,000円

一般 入会金45,000円 初年度月会費45,000円（次年度以降35,000円）

※金額はすべて税別表示。別途消費税が必要です。